「利用者アンケート調査分析結果より」

(平成25年8月実施)

○性別に関して

熊本県救護施設7施設に男性246名・女性155名、計401名が入所中であり、男性 が6割、女性が4割の入所状態である。

○年齢に関して

救護施設7施設の平均年齢が66歳であり、回答比率の一番高い年齢層と比較しても同様 の年齢層の回答数が一番多い状態となった。

○入所期間に関して

回答率が一番高かった5年以上~10年以内については、開園から現在までの同期間の施 設があるため、回答数が多い状態となった。

○給食に関して

大半の利用者は食事に満足していると回答しているが、健康管理面で量や味などに調理が 必要な方がいるため、その方々からはマイナーな意見もあった。

○介護支援に関して

入浴に関しては、個別の配慮が必要であるが、大半が十分な介助を受けているとの意見で あり、職員の介護技術の向上が見受けられた。

○健康・衛生面に関して

衛生面は、比較的保たれている。病気やケガなどの時は、迅速に対応しているが、日頃か ら体調を気にかけた声かけが必要である。

○職員の対応に関して

6割以上の利用者は満足しているが、4割弱の利用者は不満を持っているため、より細や かな対応が求められる。

○意思の尊重に関して

約半数の利用者は、意思が尊重されているという意見だが、集団生活による規則を受け、 自分の意思が表出できない状況も見受けられた。

○個別支援計画に関して

約半数の利用者が、十分な説明を受けておらず、より本人の意思に沿った個別支援計画の 作成が求められる。

○施設全体に関して

約4割の利用者が、施設生活に満足していない。不満を軽減するためには、職員が一人一 人を気がけるような意識を持って接することが信頼関係の形成となる。

態救協 2015 1月号 (No.25) 編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆さんは新年の目標はたてましたか? 昨年を振り返ると、旅行や運動会にと、目まぐるしく目標を忘れてしまいそうになる時があ りました。新年は、初心を忘れずに入所者に寄り添った支援をしたいと思います。

≪熊救協調研委員:嶋田美奈子(野坂の浦荘)≫

編集:熊本県救護施設協議会 事務局 : 〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子3072番地

真和館 TEL (096) 279-1121 調査・研究委員会

発行: 熊本県救護施設協議会 FAX (096) 279-1122

能本県救護施設協議会



http://kumakyukyo.sakura.ne.jp

ごあいさつ

千草寮 副施設長 片山 博之



はじめまして、平成26年4月1日より「千草寮」に勤務しております。

前職では27年あまり消防行政に従事し、福祉経験はまったくの素人であります。しかし、前職での経験は 利用者支援に通ずるものと考え、職員の支えもあり、試行錯誤しながら慌ただしい毎日を過ごしております。

さて、生活保護受給者の増、国の税、社会保障の一体改革による制度全般の見直しが図られ、社会福祉法人 の在り方、法人経営の透明性確保や情報開示等、救護施設をとりまく状況が変化することは避けられません。

救護施設は、生活困窮者にとって最後の受け入れとして重要な位置づけですが、行動指針、機能強化、利用 者の人権を尊重した支援の推進等、循環型・中間施設としての役割が一層求められています。平成27年4月 から新たな生活困窮者自立支援制度」も施行され、当施設も柔軟に対応していかなければなりません。

救護施設として公的扶助の意義と役割を念頭に置き、施設では利用者の多種多様な状況に対応しながら、千 草寮の優秀な職員の専門知識と支援技術をもとに利用者本意の支援提供ができればと考えております。

今後は、積極的に地域に貢献し、地域の資源を活用し、利用者・地域・施設一体となって歩んでいきたいと 考えておりますので熊救協の皆様方の御指導、御協力を何卒お願い申し上げます。

~地域貢献事業への取り組み~ 真和館編

★真和館の社会貢献事業「HAPPYプログラム」について

HAPPYは幸せ 幸せプログラム。いいネーミングだな~

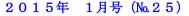
本当は、Hizenn Alcoholsm Prevention Program by Yuzuriha この頭文字をとってHAPPYです。

アルコール依存症予防のためのプログラム、独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センターが開発したものです。 真和館には、アルコール依存症の方がたくさん入所されています。様々な取り組みを実施するなかで、入所者の方々は、よ りよい生活を取り戻され、職員の対応力もアップしてきました。

いざ、真和館としての社会貢献を考えた時、アルコール依存症になる前の「予防活動」に着眼し、HAPPYプログラムを実施 していくことになりました。このプログラムの特徴は、①ブリーフ・インタベンション(短期介入) ②アルコール健康教育 ③介 入の構造化・マニュアル化されていることです。 ブリーフは「短い」 という意味で、1~3回のセッション・1回の時間は、60 分~90分くらいです。また、①1日に6ドリンク(ビール500ml3本 または日本酒3合弱)以上飲酒している多量飲酒者の 飲酒量を1日2ドリンク(ビール500ml1本 または日本酒1合)以下の飲酒に減らすこと②アルコール依存症を疑われる者 をアルコール専門医療機関につなげることを目指しています。すでに、6人の方が受講され、受講前に比べみなさん飲酒量 が減っておられます。「自分の飲酒について見つめ直すことができた」という声がもっとも多く、ジョギングを始めたり、いっしょ に禁煙された方もいます。なによりお酒について明るい雰囲気で話をすることが出来ています。



私事になりますが、父親がアルコール依存症で、その影響を受けて育ちました。長い間、お酒のた めに「こんなはずではなかった」と思い悩む人が一人でも減ることを願って過ごしてきました。HAPP Yプログラムを実施できることは、私の描いていた夢が叶う時であり、私がHAPPYそのものなのです。 平成26年6月1日にアルコール健康障害対策基本法が施行されましたので、今後はますます総合 的な対策が展開されていくことでしょう。これからも、安心して暮らすことのできる社会を目指して着 実に取り組みを進めていきたいと思います。











熊救協研修委員会報告

第1回熊救協職員研修会(H26.6.19)

場所:救護施設真和館(阿蘇郡西原村)



この研修会は、利用者サービスの質の向上に重点を置き、職員の専門職としての資質の 向上を図ることを目的に開催され、7施設より30名の出席がありました。

職種別討議(指導員・介護職員・看護師・栄養士、調理員)での職種別グループ討議を行 い普段の業務について活発な意見交換を行うことができました。



グループ討議後、真和館施設見学を行い、真和館が取り組んでおら れる居宅生活訓練事業実施状況に関する説明のあと質疑応答、意見が 出され有意義な研修となりました。

第2回熊救協職員研修会(H26.10.29)

場所:熊本県民交流会館パレア9階第1会議室

九州の各救護施設が足並みを揃え、心の病気(精神障害)について、理解を深め精神障害 者の処遇向上を図るため、今回は救護施設職員の「統合失調症に対する正しい理解とその 処遇のあり方について」をテーマに、統合失調症に特化した専門的な研修として開催しま した。

県内外の救護施設職員や各福祉事務所職員など64名の方々に参集いただきました。九 救協・熊救協藤本会長の挨拶後、県健康福祉部志水容子参事からの行政説明があり、その 後、3人の講師の先生より専門的な講話を頂きました。

まず、熊本県精神保健福祉センター次長の矢田部裕介氏より精神科専門医師としての立 場から統合失調症の医学的見地からの講話がありました。

次に、作家、ピアカウンセラーである森実恵氏より当事者として苦しかった経験を交え 統合失調症とともに生きていく話を聞くことができました。

その後、桜が丘病院総合リハビリテーション部長の原田健一氏より精神保健福祉士とし ての立場から、地域で生活していくうえでの地域ネットワークの構築が大切であることの 話がありました。

各救護施設では、統合失調症を含め精神障害の利用者が生活されており、その方々に日々 接する職員として、統合失調症についての知識及び病気の特性を学ぶことができ、利用者 へのよりよい処遇が期待できる研修会でした。





アンケート設問別回答一覧

県下救護施設利用者の施設生活をより良いものにしていくため、平成25年度に7年ぶり3回目の「利用者サービスに関するアンケート調 査」を実施しましたので、調査結果について下記のとおり報告致します。なお、調査の設問に関しましては、福祉サービス第三者評価に おける利用者調査票を活用しております。

今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書き

	★ アンケート回答数 ? 170通								平成25年8月実施アンケート調査					
問	質 問 内 容	男	性	女	性	未[回答				備	考		
1	性別をおたずねします。	93	54.7	60	35.3	17	10.0							
問	質 問 内 容	20	0代	30)代	40)代	50)代	60代	70代以.	上未回答	善備 考	
2	年齢をおたずねします。	0	0.0	3	1.8	6	3.5	27	15.9	69 40.6	50 29.	4 15 8	8.8	
問	質問内容	半年	以内	半年	~1年	1年	~3年	3年	~5年	5年~10年	F10年~15	年 15年以	上	
3	いま、あなたは施設にきてどれくらいになますか。 (在所期間)	0	0.0	3	1.8	6	3.5	27	15.9	69 40.6	50 29.	4 15 8	1.8 15 8.	
問	質 問 内 容	lä	tli	เง	ハえ		らとも ない	未[回答		備	考		
4	献立は変化があり工夫されていますか。	91	53.5	32	18.8	31	18.2	16	9.4					
5	味はおいしいですか。	94	55.3	20	11.8	40	23.5	16	9.4					
6	個人の好みなど要望を聞いてくれますか。	86	50.6	24	14.1	45	26.5	15	8.8					
7	お風呂はゆっくり入れますか。	109	64.1	28	16.5	24	14.1	9	5.3					
8	お風呂の介助を受けられている方は、安心して入れますか。	51	30.0	5	2.9	10	5.9	104	61.2	※要支	援者の方の	か記入		
9	生活で必要な介助を十分受けていますか。(移動、排泄、入浴 介助など)	52	30.6	10	5.9	9	5.3	99	58.2	※要支	援者の方の	か記入		
10	施設の部屋や毎日使うものは、汚れたときすぐにきれいにして くれますか。(みんなで使う場所、部屋、トイレ、寝具など)	119	70.0	11	6.5	20	11.8	20	11.8					
11	日頃から、あなたのからだの調子を聞いてくれますか。	107	62.9	18	10.6	27	15.9	18	10.6					
12	病気やケガなどのとき、よく対応してくれますか。	129	75.9	9	5.3	20	11.8	12	7.1					
13	職員は丁寧に接してくれていますか。(嫌なことをいったり、したりする職員はいない)	108	63.5	19	11.2	26	15.3	17	10.0					
14	他の人に聞かれたくないことや見られたくないことの秘密を守るなど、プライバシーが 守られていますか。	108	63.5	21	12.4	23	13.5	18	10.6					
15	毎日の生活の中で、あなたのしたいことが自由にできますか。(テレビ、趣味等)	107	62.9	20	11.8	20	11.8	23	13.5					
16	1日の過ごし方は、あなたにあっていますか。(ペース、生活内 容)	95	55.9	23	13.5	34	20.0	18	10.6					
17	ボランテイアや地域の方々と楽しく交流する機会がありますか。	90	52.9	38	22.4	22	129	20	11.8					
18	施設ではあなたの意思が尊重されていますか。	91	53.5	25	14.7	37	21.8	17	10.0					
19	あなたへのサービス計画(支援計画)をつくる時、あなたの状況や、あなたや家族の要望をよく理解してくれましたか。	91	53.5	23	13.5	34	20.0	22	12.9					
20	サービス計画(支援計画)について、十分な説明がありましたか。	91	53.5	24	14.1	33	19.4	22	12.9					
21	不満や要望を職員に気軽に言うことができますか。	98	57.6	34	20.0	19	11.2	19	11.2					
22	職員は不満や要望をよく聞いて対応してくれますか。	108	63.5	16	9.4	31	18.2	15	8.8					
問	質 問 内 容	とで	も良い	やや	良い		らともない		かや	全く 良くない	未回答	備	考	
23	施設はあなたにとって良いところだと思いますか	66	38.8	38	22.4	37	21.8	4	2.4	11 6.5	14 8.	2		
問	質 問 内 容	□ 答												
24	日頃お感じになっている施設に対する意見や要望など、ご自由にお書きください													